Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目
1	サブカテゴリー1 サービス情報の提供　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目1
利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○ 非該当

サブカテゴリー1の講評

独自目標などが記載されたホームページを配布し、広報にあたっている

A4三つ折りのパンフレットが作成されており、入園希望者・見学者に配布されている。保育目標・独自保育・保育料・年間行事・給食等々の情報が網羅されており、限られたスペースの中で保護者が知りたい事項や必要な情報が得られる内容となっている。またホームページ掲載のブログについても更新頻度を高くしていくことを目標としている。

行政への報告と行政からの発信がなされている

園運営に関しては、行政への報告にあたっており、種々の相談を通して行政との関係を構築し、連携した支援となるよう取り組んでいる。行政のホームページとリンクがなされており、誰もが見られる状況となっている。また現在地域特性を考慮し、連携園を指定していないが、保護者の希望や地域へのリサーチなどをしていく意向をもっている。

見学者に対して園の方針や環境を理解してもらえるよう取り組んでいる

見学者に対して園の方針や環境を理解してもらえるよう取り組んでいる。パンフレットを配布し、保育時間、漢字・英語教育、リトミックへの取り組みなどの園の特色、職員体制など保護者が気になる情報を提供し、理解したうえで入園してもらえるよう取り計らっている。また慣らし保育の状況、おむつの園での廃棄など保護者の質問に応じている。

2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○ 非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○ 非該当

サブカテゴリー2の講評

子ども・保護者が安心して入園を迎えられるよう取り組んでいる

重要事項説明書・契約書等の書式が準備されており、園の決まり等の説明後、同意を得たうえで入園が果たされている。入園説明会は、落ち着いた雰囲気にてじっくりと説明できるよう配慮している。入園前および入園後も児童票等のほかなるべく多くの情報を集め有られるよう意識しており、子ども・保護者が安心して入園を迎えられるよう取り組んでいる。

子ども・保護者双方にとってスムースで安心な入園となるよう努めている

保護者の就労を考慮しながら保育が開始されており、子ども・保護者双方にとってスムースで安心な入園となるよう努めている。特に外国籍の保護者に対してはコミュニケーションを丁寧にし、生活様式や食事等に配慮するよう努めている。慣らし保育を通じて子どもが新たな生活に慣れていける様配慮しており、保護者も見学などを通して園の保育や方針を理解してもらえるよう取り組んでいる。

園がよりどころとして・寄り添える存在となるよう発信している

卒園児の進路は多様であり、認可保育所・幼稚園・インターナショナルスクールなど家庭と子どもの希望により選択がなされている。また卒園・退園時にはいつでも遊びに来てもらえるよう伝え、園がよりどころとして・寄り添える存在となるよう発信している。また現在地域特性を考慮し、連携園を指定していないが、保護者の希望や地域へのリサーチなどをしていく意向をもっている。

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13／13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○ 非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○ 非該当

評価項目3
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○ 非該当

サブカテゴリー3の講評

健康状態、午睡状況、保育活動について適切な記録と保管に努めている

入園時にはアレルギー・熱性けいれん・家庭状況等の書類を提出してもらい、把握・対応したうえで迎え入れられている。また日々の健康状態、午睡状況、保育活動については、それぞれ様式が定められており、適切な記録と保管に努めている。また連絡帳は複写式のタイプとなっており、園からの伝達だけでなく、家庭での状況報告の記録としても機能している。

園の方針や取り巻く環境を考慮して各種計画が立案されている

全体的な計画、年間指導計画、月案など領域ごとに目標とねらいが定められており、園の方針や取り巻く環境を考慮した保育となるよう立案されている。また子どもたち一人ひとりの課題・目標等については児童票に収められており、1カ月の成長や保育内容が理解できる内容となっている。特に特色ある保育としてリトミック・英語遊びをあげており、子どもたちが楽しみながら・遊びのいったんとして成長していけるよう方針を定めている。

伝達漏れがなくなるよう工夫した取り組みがなされている

引き継ぎ用の文書が定められており、これらの確認のほか、職員間による口頭での申し送りをすることで伝達漏れがなくなるよう工夫した取り組みがなされている。また文書にも目立つようにメモをはるなど職員同士で工夫し合いながら取り組んでいる。また小規模保育所としてみながリーダーの意識をもって行うことを要しており、経験のある職員を中心に責任感の醸成に努めている。

5	サブカテゴリー5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当

サブカテゴリー5の講評

利用目的と第三者提供について書面をもって同意を確認している

個人情報の取り扱いについては入園時に利用目的と第三者提供について書面をもって同意を確認している。また契約書には、秘密保持の事項において、第三者評価・運営会議時の提供への同意、その他園児および保護者の個人情報を外部に情報提供する必要が生じた場合はその都度文書にて保護者に同意を得ることが約されている。職員行動規範にもプライバシーの保護を謳い、職員への留意に取り組んでいる。

パーティションの設置などをもって羞恥心への配慮に努めている

子どもたちの着替えやおむつ替えについてはパーティションの設置などをもって羞恥心への配慮に努めている。また子どもたちの気持ちを傷つけることのないよう・無理強いすることのないよう日々職員の接遇や声掛けについては指導に取り組んでいる。子どもの権利擁護、言葉遣いについて保護者・地域の方々の信頼を得られる接遇となることを目標としている。

生活全般にわたって注意を払いながら支援と様子の観察に取り組んでいる

毎日の視診と観察により子どもたちの健康状態・生活状況の把握・記録に努めている。また異常を発見した際には、職員間での情報共有・行政等関係機関との連携をもって対応を図るよう準備している。家庭の方針や習慣などを考慮し、食事だけでなく生活全般にわたって注意を払いながら支援と様子の観察に取り組んでいる。

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○ 非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○ 非該当

サブカテゴリー6の講評

基本事項等の確認、理念の実践に役立つよう書式・規程が作成されている

就業規則、賃金規程、園則等諸規程、安全管理、感染症対応、デイリープログラム等日々の職員業務・役割規定等種々のルールが組織として明示されている。基本事項等の確認、理念の実践に役立つよう作成されており、園の保育の基盤となるよう存在している。充実した学園内・園内研修の実施、各種マニュアルの設定、新任時教育の実施等職員育成に対して注力した取り組みがなされている。

リスク管理マニュアルとBCPが設定されている

リスク管理についてはマニュアルが設定されており、地震・火災・落雷・事件・事故・台風などのリスク別に細かな想定がなされている。フローチャートを使用するなど職員の理解と実践での活用が意識されている。また業務継続計画（BCP）については自然災害と感染症の双方について規定されており、事前対策、通常業務の再開など時系列に留意事項が示されている。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

	サブカテゴリー4		
	サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

評点（○○○○○）・非該当1

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	◉ 非該当

評価項目1の講評

子どもたちが玩具を選び、遊び込めるよう環境設定への工夫に取り組んでいる

限られたスペースの中で子どもたちが玩具を選び手に取る、遊び込めるよう環境設定への工夫に取り組んでいる。来年度は、都がすすめる「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムを活用する意向をもっている。子どもたちの興味関心をさらに引き出すとともに玩具の入れ替え、公園での昼食などあたためられたアイディアの実現につなげていくことが期待される。

日々の保育やふれあいを通して文化や習慣の違いを学ぶよう取り組んでいる

外国籍を有する子どもが複数在籍しており、日々の保育やふれあいを通して文化や習慣の違いを学ぶことができる環境となっている。子どもたちの純粋な気持ち・先入観の無さ・吸収力を壊さないよう見守っており、一体感のある保育が実現している。日々の保育の中で遊びながら互いを尊重し、認め合いながら成長できるよう指導している。また保護者に対しては翻訳機を使用する、繰り返し説明するなど対応に努めている。

対応を考察するなど心身の健康を確保できるよう取り組んでいる

入園時の説明の際には子ども同士のトラブルへの対処について保護者にあらかじめ説明しており、園の方針や子どもの健やかな成長に対して理解してもらえるよう努めている。また子どもに対しては双方の気持ちを受容し、必要に応じて環境や気持ちの切り替えをしながら対応を図っている。環境設定を変える・対応を考察するなど子どもたちの心身の健康を確保できるよう取り組んでいる。

2 評価項目2
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○ 非該当

評価項目2の講評

送迎時のやりとりを通じて状態の把握と報告にあたっている

登園時には、検温・視診をもって受け入れをし、保護者から家庭での様子を聴取し、連絡帳等を活用しながら健康状態の確認にあたっている。子どもたちの健康状態や様子は健康観察チェック表への記載をもって園全体での共有がなされている。また降園時にはその日の活動や成長の様子を伝えている。

一人ひとりへの考慮、文化と習慣の尊重により進めている

家庭の意向、家庭での様子を聴取しながら子どもたち一人ひとりにあわせてトイレトレーニング、離乳食等の生活習慣の習得にあたっている。特に離乳食については、文化や習慣を考慮し、家庭からの要望にあわせて食事の提供がなされている。生活習慣の習得にあたっては、一人ひとりの発達・発育にあわせ、家庭に説明しながら無理なく身につくよう努めている。習得や成長の記録は児童票におさめ、確認しながら保育を進めている。

午睡チェックによりSIDS防止に取り組んでいる

年齢ごとに定めた間隔により午睡時のチェックがなされており、乳幼児突然死症候群（SIDS)防止および安全な姿勢で呼吸が保てるよう確認がなされている。確認については記録し、保管がなされている。子ども一人ひとりがその日の体調にあわせて休息をとれるよう柔軟な対応にあたっている。午睡や休息時においても災害時等万一の事態に備えるよう配慮している。

3 評価項目3
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉（発声や喃語を含む）や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

子どもたちがどうしたいのかを考えながら環境設定に取り組んでいる

子どもたちが自分の興味や関心にしたがい、「多様な遊びができるよう・トラブルやケガに繋がらないよう」職員が見守りながら、思い思いに遊べるよう努めている。子どもたちが関わりを持ちながら・どうしたいのかを考えながら玩具等が設置されており、パーティションでの区切り、コーナーの設置等々遊び込めるスペースを作っている。

専門講師等によりカリキュラムとプログラムが設定されている

音楽（リトミック）、英語教育、漢字教育については、専門講師および学校法人である法人本部から指導を受けた職員によるカリキュラムが実施されており、子どもたちの可能性を広げ、自由に表現できる力を身につけられるよう取り組んでいる。またわらべ歌、手遊び、制作などの取り組みを通して多様な経験を積めるようプログラムの設定がなされている。

恵まれた環境を活かし、積極的な戸外活動がなされている

大きな公園がすぐそばにある恵まれた環境を活かし、積極的な戸外活動がなされている。また雨の日は、戸外活動ができないため、ビル内の空間を利用して散歩をするなど工夫した取り組みがなされている。各年齢の保育目標や指導計画にはねらいが設定されており、集団生活の中で決まりやルールを覚えていけるよう取り組んでいる。

4 評価項目4
日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当

評価項目4の講評

無理なくかつ子どもたちが楽しいと感じられる工夫と配慮をもって開催がなされている

行事は担当職員により分担しており、詳細な行事計画書の立案のもと実施されている。前年までの記録を参考にしながら、内容が重複しすぎないよう・反省点を活かすよう考慮されて企画されている。乳児の行事として無理なくかつ子どもたちが楽しいと感じられる工夫と様々な興味をいだける配慮をもって開催がなされている。

開催時期に配慮し、保護者になるべく早く告知できるよう努めている

多くの保護者に参加してもらえるよう保護者の参加行事（お楽しみ会・夏祭り等）は開催日・開催時期に配慮し、なるべく早く告知できるよう努めている。ハロウィンなどのほか七夕・節分・ひな祭り・端午の節句など日本の伝統を取り入れた行事を企画しており、風習等の伝承について取り組んでいる。また一人ひとりの誕生日には皆でお祝いをしている。

職員が余裕をもつことも必要であることを認識し、園としての配慮に努めている

行事に対しても子どもたちの主体性を大切にし、子どもたちが何をしたいのか、子どもたちの興味を止めるようなことのないよう取り組んでいる。特に子どもたちが不安定になる場合には気分転換も含めた対応にあたっている。また職員が余裕をもつことも必要であることを認識し、園としての配慮に努めている。日常的なイベントを大切にし、近隣の公園で食事をするなどの取り組みも企図している。

5 評価項目5
保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当

評価項目5の講評

保育時間が長くなる場合においても安全・安心に過ごせるよう体制の整備がなされている

職員間の情報共有、日々の健康観察チェック表の確認を通して、保育時間が長くなる場合においても安全・安心に過ごせるよう体制の整備がなされている。パーティション等を活用し、子ども一人ひとりの状況に応じた活動ができるよう環境整備に努めている。また随時に水分補給出来るよう相当量を常に用意しており、子ども・職員がいつでも飲めるよう配置してある。

夕方の時間帯にも散歩にでるなど活動への考慮がなされている

午前中には天候が許す限り毎日戸外活動を実施しているが、午後の時間帯であっても子どもたちの気分転換を図りたい場合は、散歩にでるなど工夫をしている。雨の日や時間に限りがある場合はビル内のスペースを散歩するなど子どもの状況や天候を考慮しながら取り組んでいる。また、保護者の用事等による時間外保育にも協力しており、柔軟な対応に努めている。

6 評価項目6
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

自園での調理にこだわり、安全な食事提供に取り組んでいる

栄養士により毎月の献立がたてられており、栄養別に記載した食材、栄養価も表示されている。また献立表には食育だよりが付されており、情報提供としても活用されている。また栄養士が子どもたちに寄り添いながら食材に触れたりおやつづくりをしたりと食育への注力がなされており、自園での調理にこだわった安全な食事提供に取り組んでいる。

野菜の収穫のための遠足など食育へも注力がなされている

化学調味料の不使用、産地へのこだわりなど子どもたちが安心して食べることができる食事提供に取り組んでいる。また離乳食は嚥下機能の向上を促すためとろみをつけるなどの工夫を施している。ユニバーサルプレートを使用し、自身で食べることができるようを援助できる環境を整えている。季節の食材の使用、野菜の収穫のための遠足、うどんづくりなど食育へも注力がなされている。

年齢に応じ、安定した環境で食事ができるよう工夫されている

食物アレルギーを持つ子ども、ベジタリアンの子どもに対しては一人ひとりに対応した除去食を提供しており、提供を誤ることのないようトレーに名前を明記するなど安全への配慮もなされている。宗教や国籍などへの配慮もなされており、一人ひとりへの対応に努めている。またテーブルと椅子は年齢に応じて用意されており、安定した環境で食事ができるよう工夫されている。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

年齢ごとに決まった間隔による午睡チェックによりSIDS防止に取り組んでいる

午睡に対しては年齢ごとに決まった間隔による午睡チェックが行われている。確認後はSIDSチェック表に記録し、保管がなされている。子ども一人ひとりがその日の体調にあわせて休息をとれるよう柔軟な対応にあたっている。午睡や休息時においても災害時等万一の事態に備えるよう配慮している。

家庭と協調しながら子どもたちの成長を見守れるよう取り組んでいる。

消毒、マスク着用、換気等新型コロナウイルス対策を講じており、保護者への協力を求めている。また必要な情報については掲示や配信システム等にて伝達し、感染・蔓延防止に取り組んでいる。保護者に対して健康・対応へのアドバイスをするなど家庭と協調しながら子どもたちの成長を見守れるよう取り組んでいる。

健康診断・体重測定等を通して健康管理にあたっている

小児科専門医による健康診断を行っており、毎月の身体測定とあわせて健康管理にあたっている。0歳児から歯科検診を行う、2歳児には歯磨きを実施するなど取り組みがなされている。発達・発育について不安をもつ子どもについては行政の巡回指導を活用し、アドバイスを参考にしながら対応を図っている。

8 評価項目8
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
◉ あり ○ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当

評価項目8の講評

家庭との双方向での情報共有に努めている

保護者の就労に対してはなるべく協力するよう努めており、柔軟な対応をもって取り組んでいる。急な延長保育・契約外利用・補食の提供等についても配慮をもって行われており、保護者に寄り添った支援となるよう努めている。また送迎時や連絡帳でのやりとりを通して家庭との双方向での情報共有に努めている。

行事・保護者参観・保護者会等を設定し、コミュニケーションを図っている

保護者との交流については、行事・保護者参観・保護者会等を設定している。各種取り組みを通して、子育てに関する悩みを聞き、また保護者同士がコミュニケーションをとれるよう努めている。誕生日会では給食の試食をしてもらい、あわせて食事への相談やアドバイスをする機会にも活用している。

保護者の賛同が協力的姿勢につなげられている

小規模かつ家庭的な方針を採用する園の保育に対して保護者の賛同が得られており、保護者の協力的姿勢につなげられている。新型コロナウイルス禍においても衛生面・環境面による保護者の協力を得て、安全な運営が実現している。くりかえしの説明・丁寧な接遇が本園の特徴として昇華している。

9 評価項目9
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点（○○）

評価	標準項目	
◉ あり ○ なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
◉ あり ○ なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当

評価項目9の講評

恵まれた環境と資源を活かし、積極的な戸外活動がなされている

地域には大きな公園が多数あり、日々の散歩を通して積極的な戸外活動に利用されている。散歩マップに収められており、子どもたちの楽しみの一つとなっている。新型コロナウイルスによる活動自粛後は、地域との防災訓練、お祭りへの参加がなくなっており、再開や代替の検討により地域との親睦を深めていく意向をもっている。

手作りの感謝カードを渡すなど地域との共生に努めている

勤労感謝の日には地域の店舗や交番に子どもたちが作成した手作りの感謝カードを渡すなどのあたたかな交流がなされており、独自の取り組みにより地域との共生に努めている。また外国籍の方が多く暮らす地域性を考慮しながら、法人内の区内小規模保育所と連携しながら地域のニーズにこたえるよう取り組んでいる。